

愛媛の極早生みかんの代表格！「日南1号」



1. 果実の出荷時期と特長

| | |
|------|---|
| 出荷時期 | 10月上旬から10月下旬まで |
| 特長 | 露地栽培温州みかんのトップバッターとして出荷され、秋の訪れを告げるさわやかな香りと味わいです。 |
| 備考 | 愛媛県内の極早生みかん栽培面積の約6割を占める代表品種です。果肉が早く熟すことから、収穫時期が早いものは果皮に緑色が残ります。極早生みかんには、「日南1号」のほか、「上野早生」、「はつひめ」などがあります。 |

2. 果実の食べやすさ

| | |
|----|---|
| 果皮 | ①：手で簡単にむけます。 ②：手でむけますが、ややむきにくいこともあります。 ③：手でむくのが大変です。ナイフなどをご利用下さい。 |
| 袋 | ①：薄く、食べてもほとんど気になりません。 ②：やや薄く、袋ごと食べることができます。 ③：厚く、口に残ります。袋をむいてお召し上がり下さい。 |
| 種 | ①：ありません（まれに少量あることもあります）。 ②：あります。 |

3. 来歴

1979年に宮崎県日南市の野田明夫氏が、「興津早生」の木に着色が早く酸抜けの良い果実が結実している枝を発見し、これが「日南1号」となりました。

3世代系譜図（ は父親（♂）、 は母親（♀））

